

トレーニングレポート通信

中国労災病院
薬剤部

No.4
2022年8月号

今回のトレーニングレポート通信は 副作用についての事例です！

事例①：オーグメンチン®配合錠の副作用についての報告

84歳 女性 歯科

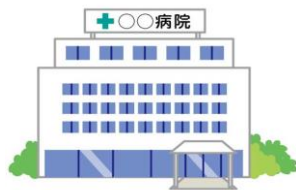
オーグメンチン®配合錠250RS 1回1錠 1日3回 朝昼夕食後 6日分
ロキソプロフェンNa錠60mg 1回1錠 1日3回 朝昼夕食後 6日分

👉膿瘍切開後、オーグメンチン®配合錠が処方されたが、服用後に下痢症状が出現。副作用が疑われ、服用を中止し受診することを促した。

報告内容	☐ 継続の必要性が乏しい薬剤についての情報提供(ポリファーマシー等)
	☐ 服薬状況 ☐ 継続の必要性が乏しい薬剤 ☒ 副作用(重篤でないもの)
	☐ 経口抗がん剤 ☐ 手技：自己注射 ☐ 手技：吸入薬
	☐ オピオイド ☐ その他()
	<u>情報提供・提案事項</u> X月Y日、歯の骨の痛み、化膿のためロキソプロフェン錠60mg、オーグメンチン®配合錠250RSを6日分のうち5回分内服された後、患者本人から薬局へ下痢がひどいことを相談されました。オーグメンチン®配合錠が原因の可能性があるため、内服を中止し、週明けに受診をするよう指導しました。週明け、薬局から患者本人に確認したところ、下痢は止まったが、体調が悪く受診できないとのことでした。幸い痛みは比較的落ち着いたので、次回受診日まで我慢するとの返答でした。発現タイミングから下痢はオーグメンチン®配合錠の副作用であると判断し、患者さんに説明しました。受診時、患者さんから経緯についての報告があると思うので、宜しくお願いします。

薬剤部より

情報提供ありがとうございます。内容を確認し、カルテ記載で主治医へ報告しました。



👉その後

処置後の抗菌薬は、オーグメンチン®配合錠を避け、ダラシン®カプセル150mg へ薬剤変更。また、整腸剤のミヤBM®錠 が同時に処方。
ダラシン®カプセル＋ミヤBM®錠変更後は、副作用出現なく、飲み切り終了となった。

オーグメンチン®配合錠による副作用が疑われ、中止を提案し受診を促しましたが、未受診。そのため、トレーニングレポートでの対応となりました。

事例②：テリボン®注オートインジェクターによる副作用疑い

58歳 女性 脊柱管狭窄症、変形性膝関節症治療中
整形外科
テリボン®注オートインジェクター28.2μg 週2回注射

👉 テリボン®注を使用中、痛みや発熱あり。

患者の母も同様の症状でテリボン®注を中止しているため、継続が不安。

報告内容	☐ 継続の必要性が乏しい薬剤についての情報提供(ポリファーマシー等)		
	☐ 服薬状況	☐ 継続の必要性が乏しい薬剤について	☐ 副作用(重篤でないもの)
	☐ 経口抗がん剤	☐ 手技：自己注射	☐ 手技：吸入薬
	☐ オピオイド	☒ その他（ ）	

情報提供・提案事項

患者より、テリボン®注を使用すると体中の痛み、発熱の症状が有るため先生に伝えているが、今日新たに腰が抜けたような痛みが出現し、継続が不安になったとのことです。

患者の母も以前テリボン®注を使用して同様の症状が出現し、高カルシウム血症と診断されたため中止となったそうです。

自己中断の恐れもあるため、指示をお願いします。

薬剤部より

情報提供ありがとうございます。内容を確認し、電話にて主治医に報告したところ、一時中止の指示がありました。医師より、「不安なことがあれば、次回受診日の前でも受診してください。」とのことでした。



 その後

受診時、医師と話し合いの結果、本人の希望によりテリボン®注再開。

トアラセット®配合錠 1回1錠 1日1回 朝食後

リリカ®OD錠25mg 1回1錠 1日1回 寝る前 が追加となった。

疼痛は改善し、現在もテリボン®注は継続中。

疼痛は、既往の脊柱管狭窄症や、神経障害性疼痛が関係していると考えられたため、テリボン®注は再開となりました。

今回の事例のように、早急に指示が必要な内容は、迅速に医師に確認致します。

事例③：ツートラム®錠による便秘の報告

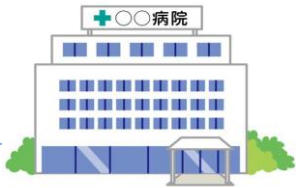
80歳 女性				
当院整形外科				
・タリージェ®錠5mg	1回	1錠	1日1回	朝食後
・ツートラム®錠50mg	1回	1錠	1日1回	朝食後
・カロナール®錠200mg	1回	2錠	1日3回	毎食後
・エディロール®カプセル0.75μg	1回	1カプセル	1日1回	朝食後
・ベネット®錠75mg	1回	1錠	月に1回	起床時
・モーラステープ®L40mg				

👉 腰部脊柱管狭窄症による下肢の痛みが持続しており、ツートラム®錠50mgが追加となったが、服用後に副作用が疑われた。

報告内容	☐ 継続の必要性が乏しい薬剤についての情報提供(ポリファーマシー等)
	☐ 服薬状況 ☐ 継続の必要性が乏しい薬剤 ☒ 副作用(重篤でないもの)
	☐ 経口抗がん剤 ☐ 手技：自己注射 ☐ 手技：吸入薬
	☐ オピオイド ☐ その他()
情報提供・提案事項	
ここ数日、便秘が増悪。元々その傾向はあったが、現在は全く排便ができず困っている。タイミング的に新しく始めた薬の影響ではないか、と連絡を受けました。 7日前よりツートラム®錠50mgの内服開始。自覚されている便秘と因果関係があると考えられます。下記3点を提案し、③を選択されました。 ①速やかに医師に相談する。 ②ツートラム®錠を継続し、便秘薬を飲んで対応する。 ③ツートラム®錠を中断し経過観察。状況次第で再開する。 次回受診までに相談に行かれるかもしれませんので宜しくお願い致します。	

薬剤部より

情報提供ありがとうございます。内容を確認し、カルテ記載で主治医へ報告しました。



👉その後、
予定日に受診されツートラム®錠は中止。
服用中のタリージェ®錠5mg 1回1錠 1日1回 → 1回2錠 1日1回へ増量となった。

開始した薬剤の副作用が疑われ、中止となった報告でした。